



進路だより

静岡県立袋井特別支援学校

No.4 R5. 11. 8

○高等部3年生【最後の】産業現場等における実習が終わりました

高等部3年生が9月から10月にかけて実習を行いました。生徒は6月の実習の反省を踏まえ、『自分で自分の進路を決定する』という強い気持ちと緊張感を持って実習に向かいました。多くの生徒が校内実習から現場実習にかけて（体調不良による）早退や欠席することなく、最後までやり切ることができました。実習を終えて学校に戻った生徒たちは、充実感と達成感に溢れていることが伝わってきました。御家庭での励ましや声掛けがあったからだと思います。さらに、卒業後を想像して仕事や生活のことなど、お子さんと話をさせていただければと思います。



【進路決定にはじっくりと時間を掛けたい】

3年生は、11月の進路面談を経て進路先を決定していきます。実習の評価を基に進路先を決定していくことはもちろんですが、お子さんの将来なので、まずは本人の気持ち（進路先を選んだ理由）を一番大切にしていきます。進路先の仕事や活動内容、雰囲気、通勤距離、やりがいなどを聞いていきます。保護者の方には、実習中の御家庭での様子とお習先の見学を踏まえながら、お子さんの進路先を考えていただきたいと思います。

参考として、本校のホームページには、『企業先の進路実績一覧』と『福祉事業所情報のリンク』が掲載されているので、地域の事業所はどのようなところがあるのかを見ることから始めてみてはいかがでしょうか。

下記 URL もしくは、QR コードから本校ホームページの進路情報を見ることができます。

<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/fukuroi-sh/home.nsf>

進路便
S →



【連携すること】

高等部に入学して実習を行うと、事業所から評価表をいただきます。評価表には雇用や受け入れについての可否、できたことや課題について記入されています。実習先の方は、職場の同僚としての視点で評価しています。実習後、いただいた評価や改善点を受け止めて、家庭や学校で取り組むことができた生徒は大きく成長し、進路決定にもつながっています。小学部、中学部段階の早期から、御家庭や学校、放課後等デイサービスと情報を共有したり、連携したりすることで課題の解決に取り組むことが将来の進路に大きく関わってくると感じます。